

CASBEE-建築(新築)2016年版  
舞鶴倉庫株式会社 低温倉庫

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版  
■評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q1 建築物の環境品質								2.0
Q1 室内環境					0.30			1.7
1 音環境				1.8	0.15			1.8
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.40			
1.2 遮音				1.0	0.40			
1 開口部遮音性能				1.0	0.60			
2 界壁遮音性能				1.0	0.40			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					-			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)					-			
1.3 吸音				1.0	0.20			
2 温熱環境				1.6	0.35			1.6
2.1 室温制御				1.0	0.50			
1 室温				1.0	0.38			
2 外皮性能				1.0	0.25			
3 ゾーン別制御性				1.0	0.38			
2.2 湿度制御				1.0	0.20			
2.3 空調方式				3.0	0.30			
3 光・視環境				1.3	0.25			1.3
3.1 昼光利用				1.8	0.30			
1 昼光率				1.0	0.60			
2 方位別開口					-			
3 昼光利用設備				3.0	0.40			
3.2 グレア対策				1.0	0.30			
1 昼光制御				1.0	1.00			
3.3 照度				2.0	0.15			
3.4 照明制御				1.0	0.25			
4 空気質環境				2.2	0.25			2.2
4.1 発生源対策				3.0	0.50			
1 化学汚染物質				3.0	1.00			
4.2 換気				1.6	0.30			
1 換気量				1.0	0.33			
2 自然換気性能				1.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.33			
4.3 運用管理				1.0	0.20			
1 CO <sub>2</sub> の監視				1.0	0.50			
2 喫煙の制御				1.0	0.50			
Q2 サービス性能				-	0.30			2.2
1 機能性				1.4	0.40			1.4
1.1 機能性・使いやすさ				1.0	0.40			
1 広さ・収納性				1.0	0.33			
2 高度情報通信設備対応				1.0	0.33			
3 バリアフリー計画				1.0	0.33			
1.2 心理性・快適性				1.3	0.30			
1 広さ感・景観				1.0	0.33			
2 リフレッシュスペース				2.0	0.33			
3 内装計画				1.0	0.33			
1.3 維持管理				2.0	0.30			
1 維持管理に配慮した設計				2.0	0.50			
2 維持管理用機能の確保				2.0	0.50			
2 耐用性・信頼性				2.4	0.30			2.4
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50			
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80			
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20			
2.2 部品・部材の耐用年数				2.6	0.30			
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				2.0	0.20			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.10			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔				3.0	0.20			
6 主要設備機器の更新必要間隔				2.0	0.20			
2.4 信頼性				1.0	0.20			
1 空調・換気設備				1.0	0.20			
2 給排水・衛生設備				1.0	0.20			
3 電気設備				1.0	0.20			
4 機械・配管支持方法				1.0	0.20			
5 通信・情報設備				1.0	0.20			

3 対応性・更新性			3.2	0.30		-	3.2
3.1 空間のゆとり			5.0	0.30		-	
1	階高のゆとり	階高 7200 意匠-12 断面図	5.0	0.60		-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率 0.085 < 0.1 意匠-09 平面図	5.0	0.40		-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30		-	
3.3 設備の更新性			2.2	0.40		-	
1	空調配管の更新性		1.0	0.20		-	
2	給排水管の更新性		1.0	0.20		-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10		-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10		-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20		-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20		-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.40		-	2.1
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30		-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40		-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.0	0.30		-	2.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			2.0	0.50		-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50		-	
LR1 建築物の環境負荷低減			-	0.40		-	3.2
LR1 エネルギー			-	0.40		-	4.0
1 建物外皮の熱負荷抑制				-		-	-
2 自然エネルギー利用			3.0	0.13		-	3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm] = 0.13	5.0	0.63		-	5.0
4 効率的運用			2.0	0.25		-	2.0
集合住宅以外の評価			2.0	1.00		-	
4.1 モニタリング			-	-		-	
4.2 運用管理体制			2.0	1.00		-	
集合住宅の評価				-		-	
4.1 モニタリング				-		-	
4.2 運用管理体制				-		-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30		-	2.3
1 水資源保護			2.2	0.20		-	2.2
1.1 節水			1.0	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60		-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70		-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30		-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.5	0.60		-	2.5
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.10		-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20		-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20		-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		-	1.0	0.20		-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10		-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			3.0	0.20		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			2.0	0.20		-	2.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30		-	
3.2 フロン・ハロンの回避			1.6	0.70		-	
1 消火剤			1.0	0.33		-	
2 発泡剤(断熱材等)			1.0	0.33		-	
3 冷媒			3.0	0.33		-	
LR3 敷地外環境			-	0.30		-	3.1
1 地球温暖化への配慮		標準計算にて算定	4.7	0.33		-	4.7
2 地域環境への配慮			2.4	0.33		-	2.4
2.1 大気汚染防止		燃焼機器を使用しておらず、外部空間に大気汚染物質を全く発生し	5.0	0.25		-	
2.2 温熱環境悪化の改善			1.0	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.7	0.25		-	
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25		-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25		-	
3 交通負荷抑制		意匠-06 配置図、意匠-09 平面図	4.0	0.25		-	
4 廃棄物処理負荷抑制			1.0	0.25		-	
3 周辺環境への配慮			2.4	0.33		-	2.4
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40		-	
1 騒音			3.0	0.33		-	
2 振動			3.0	0.33		-	
3 悪臭			3.0	0.33		-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			1.6	0.40		-	
1 風害の抑制			1.0	0.70		-	
2 砂塵の抑制				-		-	
3 日照障害の抑制			3.0	0.30		-	
3.3 光害の抑制			3.0	0.20		-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			3.0	0.70		-	
2 壁光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30		-	